

旬の北海道

昨年の12月21日に北海道旭川にて開催された第421回広葉樹銘木市と今年1月31日に開催された第422回広葉樹銘木市の内容をご報告します。

昨年の421回銘木市は、今後出品される可能性が非常に少ない樹種が有りました。その樹種は純北海道産のナラ材とクルミ材です。

右の写真で解る様に雪が多く原木に覆いかぶさっているので、下見する為に雪を掃いて頂いている地元旭川の方がいらっしゃいますが、他人任せでは十二分に下見が出来ないので、自分で雪を掃きました。正直手が神経痛になり大阪に帰って接骨院で治療をして頂きました。余談の話はここまで下記に内容を書きます。

まずナラ原木です。ロシア産・アメリカ産ではない純100%の北海道産の優良品質のナラ原木が多数出品されていまして、産地は旭川近辺の当麻の町有林材でした。30年昔と比べたら材質はさすがに落ちますが、この10年来の国内産ナラ原木の出品内容を振り返ると最高品質のナラ原木で有りました。



上記6本の小生の入札価格と落札者の単価は倍ほど離れていました。落札者は突板業者です。小生が落札したナラ原木4本は次頁に掲載しています。



高品質のナラ材と超高品質のクルミ材が出品されていきました。純国産のクルミ材です。1回の市に120立方の量が出ることも最近は今ありませんでした。又内容も優良材が多く出品されていきました。勿論ナラ原木の優良材も欲しいですが、下見の時から突板業者からの話『ナラ原木を買わざるを得ない。理由はホワイトオークの上級材が極端に入手困難になっている為』を承っていましたので、欲しいナラ原木は集めにくいかも知れないと考えていました。

クルミもライバルは、多くいますがナラ原木に皆様の関心が移っているように感じたので小生の30年間の経験でこの市はクルミの特選原木に狙いを絞り7本しかない超得選木の落札に方針を決定しました。結果は全て落札出来ました。年が明けた1月31日の銘木市には、欲しいクルミ原木は1本も無かったので、12月の買い付けは間違っていなかったと思います。





今シーズンのメインイベントの広葉樹銘木市が1月31日（木曜日）に北海道・旭川にて開催されました。東京大学演習林のマカバとセンの超優良材が出品されていましたが、ここ10年の品質を遡って思い浮かべると、品質は確実に低下しています。そしてもう2～3年でマーケットから要求される品質と量を北海道産の広葉樹で賄う事は不可能になると思います。

下記の写真はマカバ原木です。3本とも静岡県の実業家が落札していました。



ただし上記の様な特選原木ばかりでは有りません。曲がりくねった原木も多数あります。

下記の写真は曲がりくねったマカバ原木です。主催者は銅賞と表示していましたが、小生は銅賞にふさわしくないと入札には参加しませんでした。



価格は高くもなく安くもない価格でした。落札者は流通屋でした。内地の市に出品されるのではと思います。

最後のページの写真は全てロシア材のナラ原木です。小生が落札しました。特徴は肌のエクボが少ない様に思えました。

ホワイトオーク・ナラ材が超品不足気味なので、ちょうどよい仕入れになったと思います。

